仕　様

形　名	HE-3707-B	HE-4651-B
設置場所	屋内用	
タンク容量	0.37㎥(370L)	0.46㎥(460L)
定　格	単相200V 4.4kW	単相200V 8.5kW
沸き上げ湯温	約65℃/約85℃	
本体寸法	高さ1673mm×φ660mm	高さ2013mm×φ660mm
質量 本体	約49kg	約55kg
質量 満水時	約419kg	約515kg
安全装置	漏電遮断器・温度過昇防止器・アース端子	
温度検知	バイメタル式サーモスタット	
発熱体	シーズヒーター	
操作部 操作	湯温設定スイッチ(低・高) 漏電遮断器(電源レバー・テストボタン)	
操作部 表示	沸き上げ中ランプ	

愛情点検　★長年ご使用の電気温水器の点検を

●電気温水器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。

- 設置場所が濡れている。
- お湯の出が悪い。
- お湯が早くなくなる。
- 時々漏電遮断器がはたらく。
- その他の異常、故障がある。

お願い　故障や事故防止のため、200V電源ブレーカーを切り不凍結水抜き栓を閉じてから据付け工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。

形　名	
ご購入(据付け)年月日	年　　月　　日
据付け工事店(販売店)名	TEL

お客さまへ………おぼえのため、形名、ご購入年月日、据付け工事店名（販売店）を記入されると便利です。

HOLS 株式会社ほくでんライフシステム　〒060 札幌市中央区南1条東2丁目6番地…☎(011)241-3225

T962Z047H28

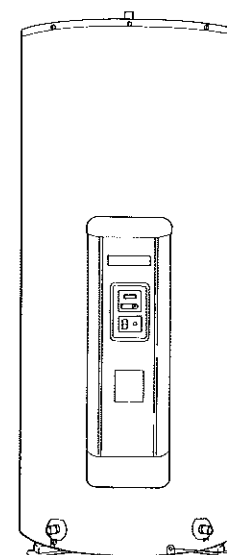
HOLS 電気温水器取扱説明書

ほくでんライフシステム

形名 HE-3707-B・HE-4651-B

このたびは、HOLS電気温水器をお買上げいただきましてまことにありがとうございました。

屋内形

LB 認定品

この電気温水器（HE-4651-B）は、申請によって第2深夜電力用として料金割引が適用されます。ご不明の場合は、必ず据付け工事店（販売店）または最寄りの電力会社にご相談ください。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後はたいせつに保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

もくじ

安全のために必ず お守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●本文中に使われる"図記号"の意味は次の通りです。

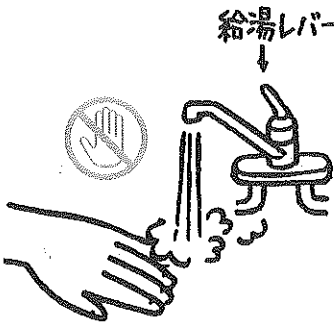
図記号	意味
⃠	絶対に行わないでください。
❗	必ず指示に従い、行ってください。
⏚	必ずアース工事を行ってください。

●お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

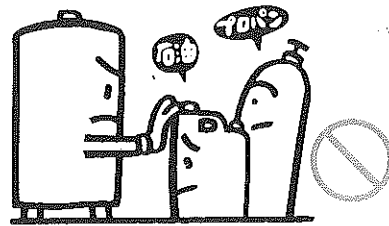
試運転は、据付け工事店の立会いのもとで行ってください。安全を確保するための正しい使い方について、据付け工事店から説明を受けてください。

⚠警告

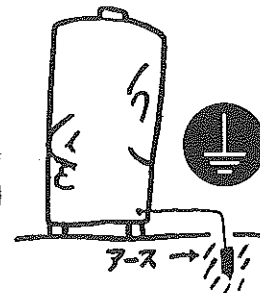
やけどに注意

- 給湯時は、給湯栓に手を触れないでください。
- 排水時は、お湯に手を触れないでください。
- 逃し弁点検時は、逃し弁排水管に手を触れないでください。

給湯レバーを開くと給湯栓からお湯が出ます。特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が出ることがあります。

使用する水栓は、湯水混合栓をお勧めします。また浴室ではサーモスタット付混合栓等をお勧めします。

近くにガス類や引火物を置かない

発火・火災になることがあります。

アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アースの取付けは据付け工事店かHOLSお客様相談窓口へお問合わせください。

修理技術者以外の人は分解・修理・改造をしない

不備があると、発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

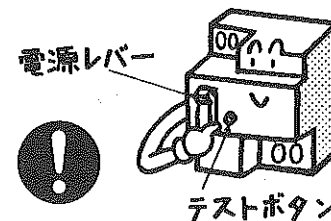
漏電遮断器の動作を確認する

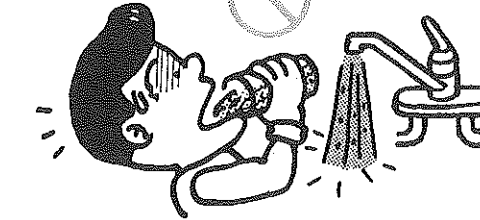
11ページ

故障のまま使用すると、感電する恐れがあります。

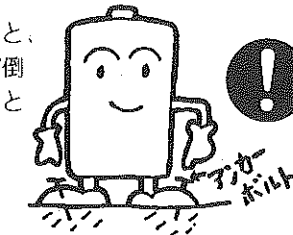
前面カバーを開けない

3ページ

開けると、感電することがあります。

⚠注意

飲用はしない

水質が変化した場合、下痢、腹痛など、体をこわすことがあります。

脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

固定されていないと、地震のとき本体が倒れてけがをすることがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付け工事店へ確認する

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな被害につながる恐れがあります。

凍結防止対策の確認をする

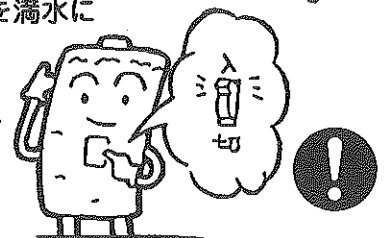
凍結すると、配管が破裂して水漏れでやけどをすることがあります。

8ページ

タンクの熱湯を直接排水しない

排水すると、やけどや排水管などを破損することがあります。

通電はタンクを満水にしてから行う

「空焼き」の場合、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

1カ月以上使用しないときは電源を「切」にしてタンクの排水をする

排水しないと、水質が変化することがあります。 10ページ

逃し弁の点検をする

12ページ

点検しないと、タンクが破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

操作カバーは閉じる

3ページ

開けておくと、漏電や感電することがあります。

各部のなまえとはたらき

本体

給湯口

本体からのお湯の出口です。

沸き上げ中ランプ

ヒーターに通電しているときに点灯します。

操作カバー

前面カバー

給排水口

左右にあり、給水用と排水用に使い分けられます。

脚

形名はここに書いてあります。

湯温設定スイッチ

沸き上げ湯温を設定するスイッチです。

漏電遮断器 電源レバー

このレバーで電源を「入」・「切」します。

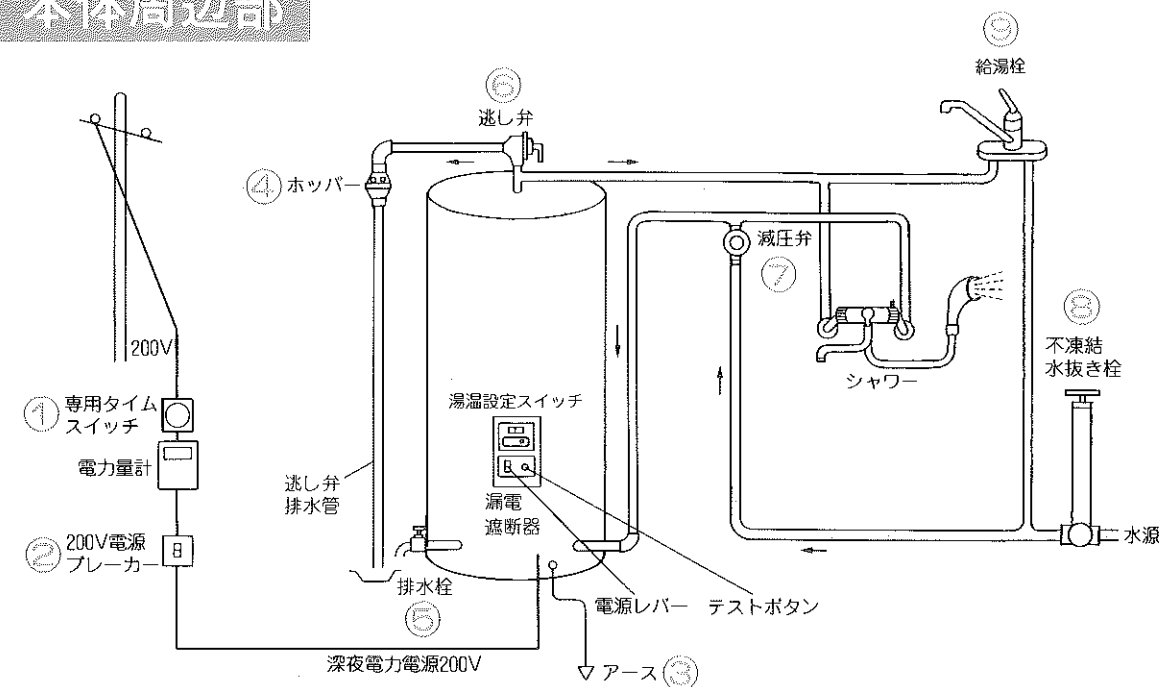
使用中は常に「入」にしておきます。

漏電遮断器 テストボタン

万一漏電したときに動作するかをテストするボタンです。

アース端子

本体を「接地」するためのアース線端子です。

本体周辺部

①専用タイムスイッチ

深夜電力電源(200V)の供給を自動的に「入」、「切」する。

②200V電源ブレーカー

200V電源の「入」、「切」をする。

③アース

万一の感電を防ぐ。

④ホッパー

排水管が凍結したときにも逃し弁からの膨張水が排出できるようにする。また、タンク排水時に逃し弁からの空気取入れ口にもなる。

⑤排水栓

タンク内の水を排水するときに操作する。

⑥逃し弁

沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定圧力にする。

⑦減圧弁

タンク内への給水圧力を一定にする。

⑧不凍結水抜き栓

タンク内への「給水」、「止水」と凍結防止時、水抜きとして機能する。

⑨給湯栓

お湯を取り出す。

使用前の準備と給湯

使いはじめは配管内のゴミや油を流すため一度給水、排水をしてから給水してください。

①排水栓を閉じる。
②給湯栓やシャワーの湯温調節を「高」にして給湯栓を開く。
③不凍給水抜き栓を開く。
④約30～40分して給湯栓やシャワーから水が出てきたら給湯栓を閉じる。
給水時間はタンク容量や配管によって多少変わります。

⑤不凍結水抜き栓を閉じる。
⑥逃し弁のレバーを上げる。
⑦排水栓を開く。約30～40分で水が抜けます。
⑧排水が終ったら排水栓を閉じて逃し弁のレバーを下げる。

⑨不凍結水抜き栓を開く。
⑩給湯栓やシャワーから水が出てきたら給湯栓を閉じる。

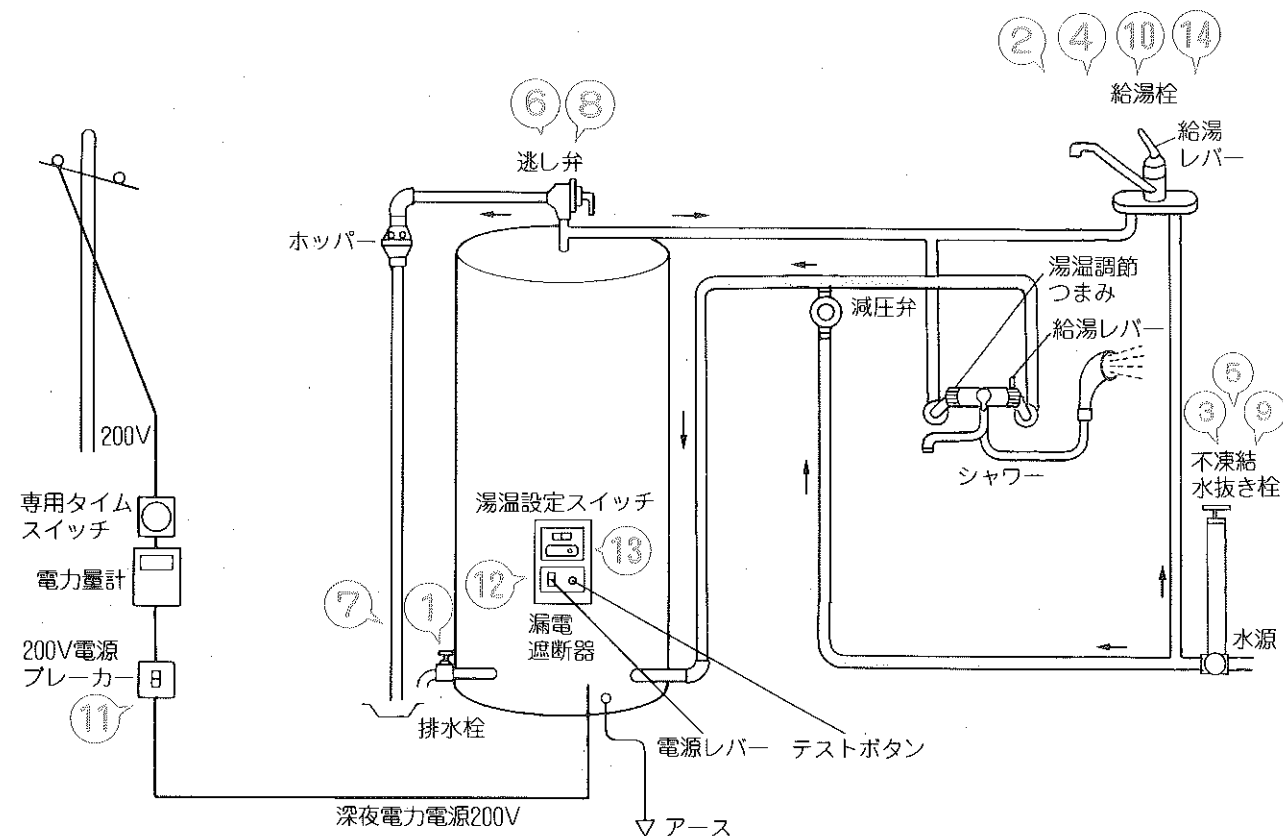
運転

⑪深夜電力の200V電源ブレーカーを「入」にする。
⑫漏電遮断器の電源レバーを「入」にする。
⑬湯温設定をする。（7ページ）

お知らせ
- **深夜電力は専用タイムスイッチによって毎晩自動的に供給されます。**
- **給湯は翌朝から使用できます。**

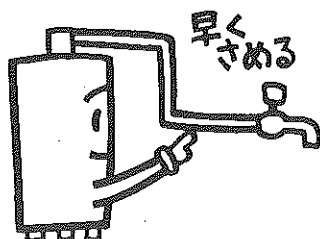
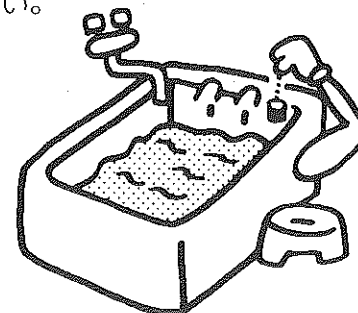
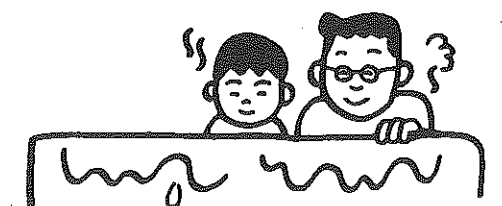
⑭湯温調節を「低」側にしてから給湯栓を開きちょうどよい湯温にする。

お知らせ **給湯すると温水器に自動的に給水されます。**

②④⑩⑭ 給湯栓
給湯レバー
⑥⑧ 逃し弁
ホッパー
減圧弁
湯温調節つまみ
給湯レバー
⑤③⑨ 不凍結水抜き栓
シャワー
200V
専用タイムスイッチ
電力量計
200V電源ブレーカー ⑪
湯温設定スイッチ ⑬
⑫ 漏電遮断器
⑦ ① 排水栓
水源
電源レバー
テストボタン
深夜電力電源200V
アース

お湯の上手な使い方

特に冬期は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になることがありますから上手に使いましょう。

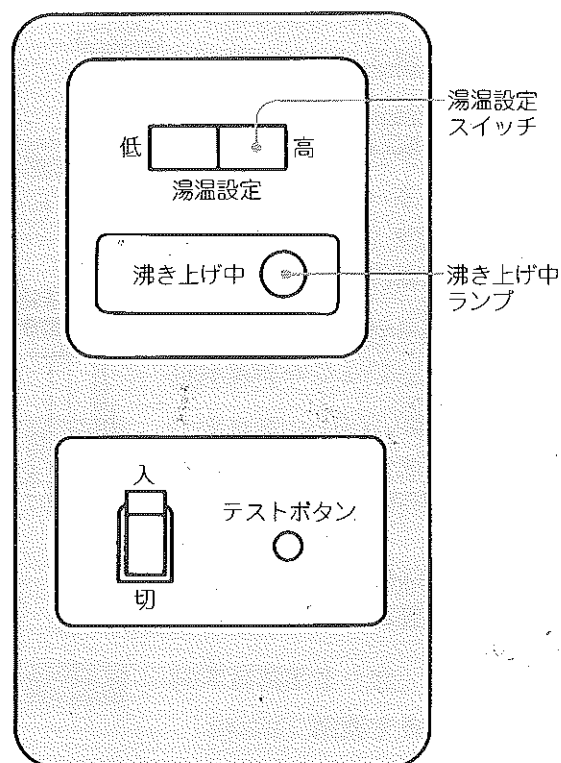
- 流し洗いはお湯のムダ使いになります。
お湯は容器に受けて使いましょう。

- 配管内のお湯は早くさめます。
シャワーや給湯栓の開閉回数をできるだけ少なくすると効果的です。

- お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行ってください。

- 入浴は、できるだけ深夜電力時間帯（沸き上げ中ランプの点灯中）を避けて連続して行うようにしてください。
点灯中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなることがあります。

ご使用方法

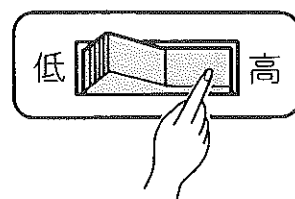
ご家庭の使用湯量、家族構成の変動、来客のご予定などに合わせてご使用ください。

湯温設定

上手な使い方

- ご家庭の使用湯量、家族構成の変動、来客のご予定などに合わせて設定して使用すると維持費の節約ができます。
- 来客などで使用湯量が急増するときや熱いお湯が必要なときはまえもって「高」に設定してください。

高運転

- 約85℃に沸き上げます。
- 来客の予定がある場合や冬季など多量のお湯を必要とする場合に使用します。

湯温設定スイッチの「高」を押す

低運転

- 約65℃に沸き上げます。
- 夏季などお湯の使用量が少ない場合に使用します。

湯温設定スイッチの「低」を押す

お知らせ

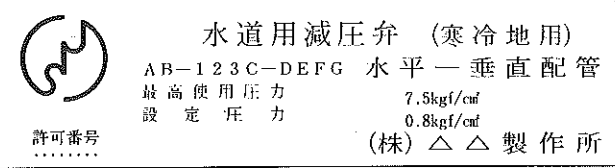
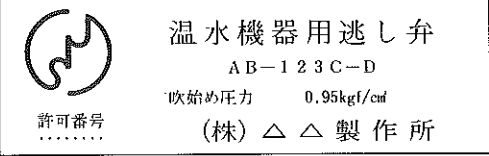
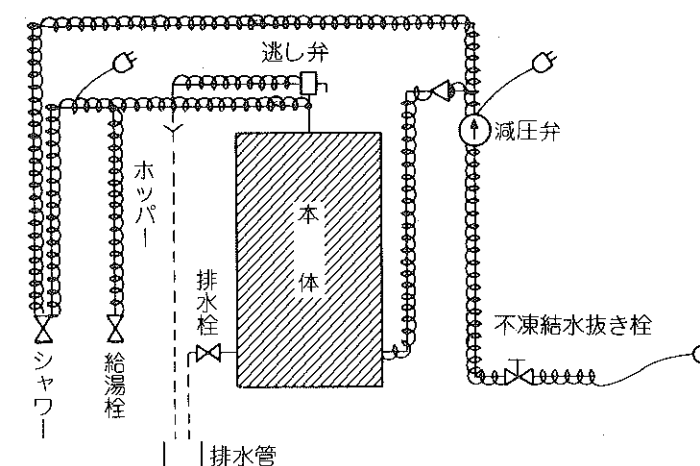
- 「低」でご使用のときは湯量不足にならないよう注意してください。
- 沸き上げ中ランプが点灯中に「高」に切換えると約85℃まで沸き上がらないことがあります。

凍結防止について

凍結防止について必ずお読みください

据付場所の周囲温度が0℃以下になる場合には配管や減圧弁、逃し弁が凍結する恐れがありますので、凍結防止対策が必要です。

凍結防止対策としては「凍結防止ヒーターによる方法」があります。

凍結防止ヒーターによる方法

- 凍結防止ヒーターが図のように巻かれているかを確認します。
- 凍結防止ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込みます。
- 凍結しない季節は安全のためコンセントからプラグを抜いておきます。

減圧弁・逃し弁の指定〔(社)日本水道協会統一注意表示〕

この機器は、労働省・労働安全衛生法施行令（昭57.4.20政令第124号）及び日本工業規格(JIS)により、水頭圧10m以下100kPa（1kgf/㎠以下）で使用することが義務付されているため、必ず減圧弁及び逃し弁を取付けて使用して下さい。

(1) 水道に直結して使用する場合は、必ず次に掲げるもので、かつ、当該水道事業体が承認するものを使用して下さい。
　① (社)日本水道協会の型式登録品で、かつ、検査合格証が貼られている減圧弁及び逃し弁。
　又は、
　② JISマークが表示されている水道用減圧弁及び温水機器用逃し弁。

(2) 水道に直結する場合で、寒冷地用の減圧弁及び逃し弁の使用が義務付されている地域では、必ず次の表示を確認の上、使用して下さい。

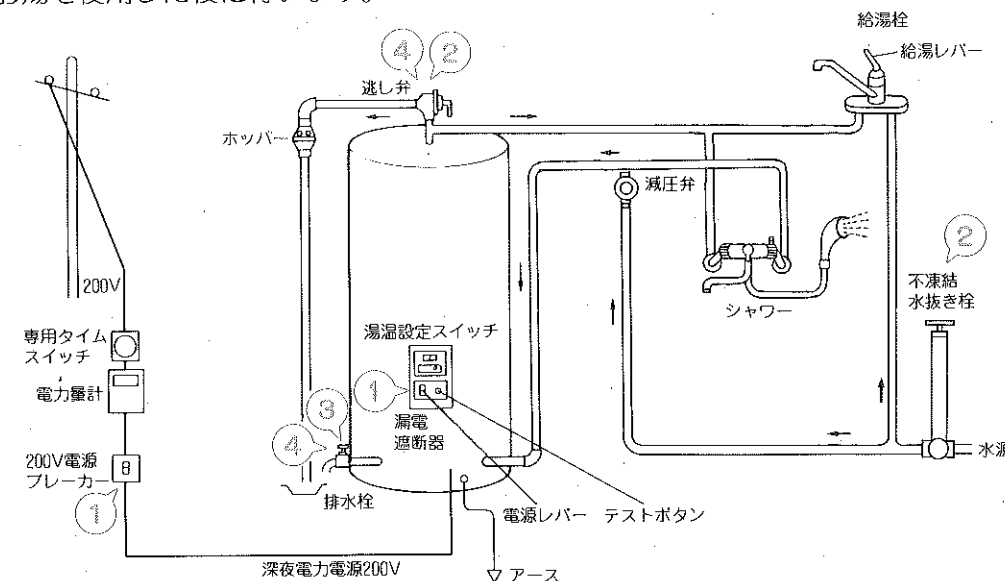
① (社)日本水道協会の「型式登録品で、かつ、その検査合格証のあるもの」の場合	丸・寒ラベル	減圧弁・逃し弁ともに、(社)日本水道協会の検査合格証に丸・寒表示がある。 JWWA
② JISマーク表示品の場合	減圧弁のラベル	水道用減圧弁は、設定圧力80kPa(0.8kgf/㎠)とJISマーク及び「寒冷地用」の表示がある。 水道用減圧弁 (寒冷地用) AB−123C−DEFG 水平—垂直配管 最高使用圧力 7.5kgf/㎠ 設定圧力 0.8kgf/㎠ 許可番号 ········ (株) △△製作所 赤地に銀文字
	逃し弁のラベル	温水器用逃し弁は、吹始め圧力95kPa(0.95kgf/㎠)とJISマークの表示がある。 温水機器用逃し弁 AB−123C−D 吹始め圧力 0.95kgf/㎠ 許可番号 ········ (株) △△製作所 赤地に銀文字

※当社専用部品は（社）日本水道協会の型式登録品で、かつJISマークが表示されていますので必ず当社専用部品をお使いください。

長期間使用しないときは

1ヵ月以上のとき（タンク内の水抜きをします。）

長期間使用しないとタンク内の水が変質しますのでタンク内の水抜きをします。

※水抜きは、お湯をすてるムダを少なくするため、お風呂などに給湯するなど、多量のお湯を使用した後に行います。

①深夜電力の200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。
②不凍結水抜き栓を閉じてから、逃し弁のレバーを上げます。
③排水栓を開きます。(熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。)
④排水が終わりましたら逃し弁のレバーを下げ、排水栓を閉じます。
★再びご使用になるときは使用前の準備と給湯(5ページ)に従ってください。

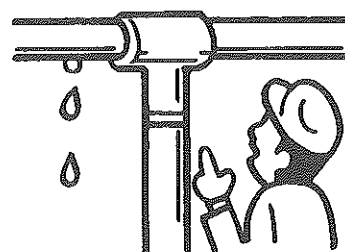
1ヵ月以内のとき（電源を切ります。）

1ヵ月以内でも冬期凍結の恐れのあるときは、タンクや配管を破損しますのでタンク内の水抜きをしてください。

① 漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。
② 不凍結水抜き栓を閉じます。
★再びご使用になるときは逆の順序(②、①)で行ってください。

お手入れと定期点検のお願い

配管の点検

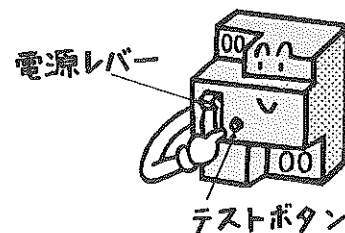
配管の保温材破損や水漏れがないか、特に冬期に入る前にチェックし、異常のある場合は据付け工事店に修理依頼してください。

タンクのお手入れ（1～2ヵ月に1度）

① 排水栓を1～2分間開き排水します。
② 排水がきれいになったら排水栓を確実に閉めます。
（排水がきれいにならなかったら数回繰り返してください。）

⚠警告
排水時は、熱湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

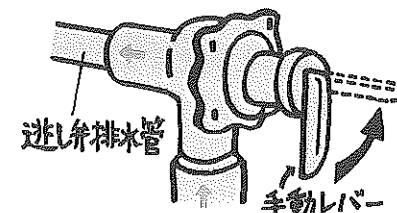
漏電遮断器の点検（1ヵ月に1度）

漏電遮断器の点検は深夜電力時間帯に行ってください。

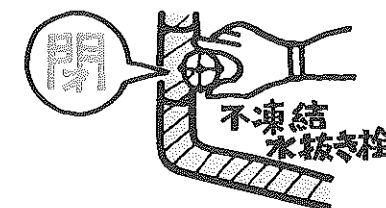
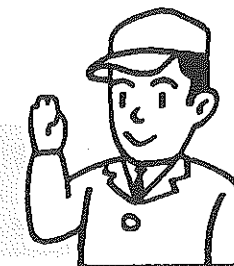
① テストボタンを押します。
「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。
電源レバーが「切」にならないときは200V電源レバーを「切」にして据付け工事店にご連絡ください。
② 電源レバーを「入」にもどします。

⚠警告
漏電遮断器の動作を確認してください。故障のまま使用すると感電する恐れがあります。

逃し弁の点検（1ヵ月に1度）

1．**動作点検**…逃し弁のレバーを上げ、水（お湯）が排水口から出ることを確認します。お湯が出れば正常です。お湯が出ないときは、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。
2．**水漏れ点検**…「沸き上げ中ランプ」が消灯中に排水口からお湯がでていないかを確認します。お湯が出ているときには、手動レバーを数回上下に動かしてください。それでもお湯が止まらないときは温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

⚠警告
逃し弁排水管に手を触れないでください。
やけどをすることがあります。

水漏れの点検

本体や、周辺配管などから水漏れが生じたときは、不凍結水抜き栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

⚠注意
マンションなど、中・高層住宅では、水漏れが起きた場合、下層階へ被害を及ぼす恐れがあります。

定期点検のお願い（有料）

- 電気温水器を少しでも長くご満足して使用していただくために、3～4年ごとに定期点検（有料）を行ってください。
- 減圧弁、逃し弁などは消耗部品（目安として3～4年）です。劣化している場合は早めに交換してください。
- 定期点検については、据付け工事店または「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。

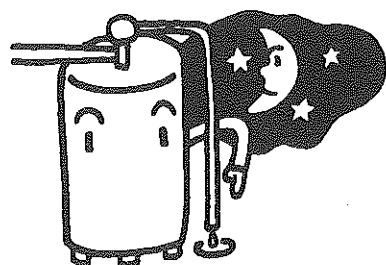
修理を依頼する前に

こんなときは故障ではありません。

お湯から油や臭いが出る

初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

逃し弁からお湯が出ている

逃し弁が正常に作動していると、沸き上げ中(沸き上げ中ランプが点灯中)に水からお湯になるときの膨張分が逃し弁から出ます。

故障かなと思ったら

こんなとき	調べていただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない 出が悪い	・断水していませんか	断水が終わるまで待ってください。
	・不凍結水抜き栓は開いていますか	閉じていれば開いてください。
	・配管部分が凍結していませんか	とけるまで待ってください。
お湯が沸かない 足りない	・200V電源ブレーカーが「切」になっていませんか ・漏電遮断器の電源レバーが「切」になっていませんか	「入」にしてください。
	・湯温設定は適切ですか	「高」に切換えてください。(7ページ)
	・逃し弁の排水口から昼間、お湯か水が出ていませんか	逃し弁を点検してください。(12ページ) 逃し弁を点検してもなおらない場合は減圧弁の故障も考えられますので、据付け工事店にご連絡ください。
	・沸き上げ中ランプが点灯中にお湯をたくさん使用しませんでしたか	翌日までお待ちください。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは据付け工事店または「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。保証期間内の場合は保証書をご提示ください。

保証とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、必ず「据付け工事店(販売店)名、お買上げ日」などの所定事項の記入を確かめて据付け工事店からお受け取りください。
- 保証書記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

保証期間

- お買上げの日から2年間です。
（ただし、タンクは5年です。）

補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年です。この期間は(財)ベターリビングの指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理サービス

- 製品の具合が悪いときは13ページの「故障かなと思ったら」をお読みになって今一度チェックしてください。
それでも具合の悪いときは据付け工事店または「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。

保証期間中の修理

- 保証期間中の修理については、保証書をご掲示ください。保証書の規定にしたがって、据付け工事店が修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

- 保証期間経過後の修理については据付け工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客さまのご要望により有料修理をいたします。

ご連絡いただきたい内容

品　　名	電気温水器
形　　名	
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前、電話番号、訪問希望日	

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

ご不明な点に関するご相談は

- 据付け工事店か「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。